

株式会社 環境ソルテック

KANKYO SOL-TECH CO.,LTD

DXNsの簡易分析（機器分析法）のご紹介

ダイオキシン類の簡易分析法に係わる政策的な動向は、
2004年12月 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（平成11年総理府令第67号）の一部を改正して、廃棄物焼却炉からの排出ガス（焼却能力 2,000kg/h 未満）やばいじん及び燃え殻に含まれるダイオキシン類の測定の一部に簡易測定法を追加
2005年9月 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第二条第一項第四号の規定に基づき環境大臣が定める方法（平成17年環境省告示第92号）を定め、4種類の生物検定法を指定
2010年3月 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第二条第一項第四号の規定に基づき環境大臣が定める方法（平成22年環境省告示第26号）を定め、機器分析法を追加

環境ソルテックでは、30年以上にわたるGC/MS
詳細分析法によるDXNs分析の経験を活かし、
2022年度より機器分析法の中でも一番精度の高い
GC/HRMS法による分析を実施しています！！

表1 詳細分析法と機器分析法の比較

	詳細分析法	機器分析法（簡易分析）
分析方法	排ガス：JIS K0311 灰：平成16年環境省告示80号	排ガス：平成22年環境省告示26号 灰：平成22年環境省告示26号
価格	定価10万円～13.5万円	定価5万円
納期	試料到着後10営業日	試料到着後5営業日
精度	極めてよい	よい（10%以内の誤差）
定量下限	低濃度まで測定可能	同左

飛灰など5検体を、詳細分析法と機器分析法で比較分析した結果を表2に示します。

DXNsの低濃度から高濃度まで、詳細分析法と機器分析法の誤差は10%以内であり分析精度は十分高い

表2 詳細分析法と機器分析法の比較分析結果

分析法	①詳細分析法 (ng-TEQ/g)	②機器分析法（簡易分析） (ng-TEQ/g)	②÷①
施設A 焼却灰	0.0057	0.0062	1.09
施設B 飛灰	2.8	2.9	1.04
施設C 飛灰固化灰	0.69	0.75	1.09
施設D ボイラ灰	0.0058	0.0058	1.00
施設E 煙突堆積物	1.5	1.6	1.07



3台の最新の二重収束型GC/MSにより、正確かつ短納期のDXNs分析に対応しています！

環境分析・測定検査カンパニー



KANKYO SOL-TECH CO.,LTD



お問合せ



079-443-6508

2024年6月6日改定